

平成30年度



# 横須賀応援ふるさと納税 活用状況報告書

神奈川県横須賀市

このたびは、横須賀を愛する多くの皆さまから多大なご寄附をいただき、誠にありがとうございます。

平成30年度は1,509件、52,813,100円ものご寄附をいただきました。

皆さまの「横須賀を応援したい」というお気持ちに対し深く感謝申し上げますとともに、ここに、その活用状況をご報告させていただきます。

皆さまからのご寄附は、子育てや福祉、そして平成30年度から新たに加わった観光など、お選びいただいた14の使い道により、横須賀の未来のために活用させていただきました。

また、令和元年度からは新たな寄附先に、横須賀美術館の美術品の充実などを目的とする美術品等取得基金を追加し、活用先をさらに拡げました。

引き続き、皆さまの横須賀へのご支援・ご協力を、よろしくお願いいたします。



横須賀市長 上地克明

# 1 寄附の状況

平成30年度は合計1,509件、52,813,100円の寄附を皆さまからいただきました。

いただいた寄附の内訳は以下のとおりです。

基金名等	寄附件数	寄附金額
<b>歴史文化基金</b> 歴史や文化を次世代に引き継いでいくため	78件	2,628,000円
<b>スポーツ基金</b> 競技者を含めた市民1人1人のスポーツ活動を支援するため	33件	1,016,000円
<b>観光立市推進基金</b> 観光の魅力発信及び観光客の受け入れ環境の整備を進めるため	75件	2,725,000円
<b>NPO支援基金</b> 市民の自主的なまちづくり活動を支援するため	7件	188,000円
<b>福祉基金</b> 高齢者や障害者が安心して暮らせるよう、福祉の取り組みを進めるため	141件	5,618,000円
<b>いのちの基金</b> いのちを育み守る医療の取り組みを進めるため	39件	1,568,000円
<b>生涯現役基金</b> 誰もがいつまでも健康で活躍できるよう、健康づくりを進めるため	34件	1,043,000円
<b>子育て基金</b> 子どもを産み育てやすい環境をつくり、子育てを支援するため	527件	17,399,700円
<b>みどりの基金</b> 緑化を進め、豊かなみどりを守るため	57件	2,221,000円
<b>猿島基金</b> 自然豊かな猿島公園の環境を良好に保つため	57件	1,657,000円
<b>消防救急基金</b> 安全で安心な消防救急体制を整備するため	59件	1,857,000円
<b>就学支援基金</b> 経済的理由により就学が困難な子どもの就学を支援するため	37件	1,487,700円
<b>交通遺児奨学基金</b> 交通事故で親を亡くした子どもたちを支援するため	60件	1,691,700円
<b>一般寄附</b> 市の活動全般に活用するため	305件	11,713,000円
計	1,509件	52,813,100円

## 2 各基金の活用状況

※活用予定額には、従前より積み立てていた額も一部含まれています。

### 歴史文化基金（令和元年度の活用予定額 3,557,000 円）

担当：文化スポーツ観光部文化振興課 046-822-8116

#### ① 市民文化資産等保存振興事業

市民文化資産の保存・振興を図るため、管理の奨励や修繕などを行います。

#### ② 明日の文化活動担い手育成事業

子どもたちに様々な文化活動を体験してもらい、将来の文化活動の担い手育成を行います。

#### ③ 文化団体支援事業

市内の文化団体における活動促進を支援します。

#### ④ 文化財施設等維持管理事業

文化財保有者に対し、保存管理のための奨励金を支給します。

#### ⑤ 文化財保護周知啓発事業

指定文化財に関する説明板の設置や補修を行います。

#### ⑥ 近代歴史遺産活用事業

市内に残る明治から戦前の近代歴史遺産について、市民に広く周知し、本市の歴史と文化を見つめ直す機会を提供します。

#### ⑦ 街なかミュージック支援事業

街なかをステージとした音楽ライブの開催や、アーティストの支援などを行い、常に音楽にあふれたワクワクする街づくりを行います。



ヨコスカ街なかミュージック

寄附者からの  
メッセージ

毎年12月に開催される横須賀芸術劇場の『第九コンサート』に合唱団の一員として参加をさせていただいております。横須賀の素晴らしい文化が末永く続きますよう、応援しております。

## スポーツ基金（令和元年度の活用予定額 995,000 円）

担当：文化スポーツ観光部スポーツ振興課 046-822-8444

### ① 国県体育大会等選手派遣事業

全国大会・国際スポーツ大会等の出場者への支援や市町村対抗駅伝への選手派遣を行います。



市町村対抗「かながわ駅伝」  
競走大会の様子

NEW

## 観光立市推進基金（令和元年度の活用予定額 2,641,000 円）

担当：文化スポーツ観光部観光課 046-822-8567

### ① 観光地整備・美化事業

横須賀を訪れた方々が、快適に横須賀を周遊していただけるよう観光施設の整備や観光地の美化を行います。



大楠山山頂



## NPO支援基金（令和元年度の活用予定額 190,000円）

担当：市民部市民生活課 046-822-9699

### ① 市民公益活動促進事業

市内のNPO法人の活動基盤を強化するため助成を行うほか、市民公益活動参加者に公共施設などで使えるポイント券を配付します。

### ② 市民協働型まちづくり推進事業

行政のパートナーとしての市民活動を支援するため、市民を対象とした公益的な事業でボランティアを募り活動する団体に対する助成を行います。



NPOによるフードバンク事業

## 福祉基金（令和元年度の活用予定額 8,426,000円）

担当：福祉部福祉総務課 046-822-8267

### ① ボランティア活動推進事業

市民福祉に関わるボランティア活動を推進します。

### ② 在宅障害者衛生援護事業

在宅の重度障害者に対して、出張理容などを実施します。

### ③ ひとり暮らし高齢者支援事業

ひとり暮らし高齢者宅にボタン一つで119番通報ができる緊急通報システムを設置・運用します。



災害時ボランティアセンター  
設置運営訓練

## いのちの基金（令和元年度の活用予定額 1,166,000 円）

担当：健康部地域医療推進課 046-822-4751

### ① 看護師確保対策事業

看護師不足の解消をめざすとともに、市民の健康を守り、横須賀の医療を支えるために看護師の人材確保の取り組みを実施します。

### ② 不育症治療費助成事業

不育症により子どもを持つことが困難なご夫婦に対し、経済的負担となる保険適応外の治療費および不育症判定検査費の一部を助成することで出生数の増加につなげます。

### ③ 骨髄提供希望者登録推進事業

骨髄・末梢血幹細胞提供者（ドナー）の経済的負担を軽減し、骨髄移植などの推進を図ります。



看護職のための  
合同就職・進学説明会

## 生涯現役基金（令和元年度の活用予定額 1,066,000 円）

担当：健康部保健所健康づくり課 046-822-4537

### ① 健康づくり推進事業

市民の健康づくりを推進するため、習慣的に運動する人を増やす取り組みなどを行います。

### ② 健康食生活推進事業

食生活改善を推進するため、食育推進講演会・食育推進キャンペーンなどやヘルスマイトよこすか（食生活改善推進団体）の養成を行います。



ウォーキング講座の様子

## 子育て基金（令和元年度の活用予定額 17,598,000円）

担当：こども育成部こども育成総務課 046-822-8265

### ① 子育て支援ヘルパー派遣事業

産前産後に家事、育児の支援を要する家庭へのヘルパー派遣を行います。

### ② 一時保護所運営事業

一時保護所の備品の購入や、臨時職員の雇用などを行います。

### ③ 特別養子縁組推進事業

特別養子縁組に関し民間事業者と連携を図ります。

### ④ 放課後児童クラブ助成事業

労働などのため保護者が昼間家庭にいない小学校に就学している児童を対象とする民設民営の放課後児童クラブへの助成を行います。



放課後児童クラブの様子

寄附者からの  
メッセージ

子供が楽しく、遊んで、学べる環境作りをお願いします。

働く親御さん、その子供達を支える学童クラブへの寄附をお願いします！



## みどりの基金（令和元年度の活用予定額 2,241,000 円）

担当：環境政策部自然環境共生課 046-822-8331

### ① 里山的環境保全・活用事業

市と市民・NPO団体などが協働し、里山的環境の再生、維持、管理を長坂、野比で行っています。環境保全のために水田管理や樹林地管理を行うとともに、人々が身近な自然とふれあい、多様な体験（自然観察会やものづくりイベントなど）ができる場としても提供しています。

### ② 花いっぱい推進事業

市民が主体となって実施している、公共用地などに花の育成・植え付けを行う取り組みに対して支援をします。

### ③ 民有地緑化支援事業

「みどり」の少ない地域の緑化推進やうるおいのある街づくり、まちなみ景観の向上のため、民有地（住宅や事業所）を緑化される方に、補助金を交付します。



水田管理



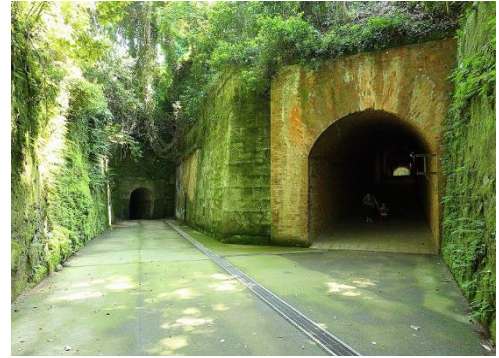
樹林地管理

## 猿島基金（令和元年度の活用予定額 1,717,000 円）

担当：環境政策部公園管理課 046-822-8333

### ① 猿島公園管理事業

猿島公園の園路整備や施設修繕などを実施します。



猿島公園内の遊歩道

## 消防救急基金（令和元年度の活用予定額 1,849,000 円）

担当：消防局総務課 046-821-6456

### ① 消防車両水利整備事業

災害現場へ物資、人員の搬送や広報活動をするための広報車を購入します。



広報車

寄附者からの  
メッセージ

安心して住める町、そして、未来へつなげることができる町にしてください。

## 就学支援基金（令和元年度の活用予定額 1,564,000 円）

担当：教育委員会事務局学校教育部支援教育課 046-822-8480

### ① 就学援助事業

文房具などの学用品や修学旅行費などの就学に必要な費用の一部を援助します。

## 交通遺児奨学基金（令和元年度の活用予定額 1,736,000 円）

担当：教育委員会事務局学校教育部支援教育課 046-822-8480

### ① 交通遺児対策事業

交通事故により一家の生計中心者を亡くし、小学校、中学校、高等学校などに在学している交通遺児を支援するため、その保護者に奨学金を支給します。

一般寄附としていただいた、11,713,000円については、市の活動全般に活用させていただきます。

# 横須賀市からのお知らせ

## ① 寄附先に「美術品等取得基金」が加わりました！

平成31年4月から、ふるさと納税の寄附先として新たに美術品等取得基金が選べるようになりました。こちらにいただいた寄附は、横須賀美術館の展示作品充実のために活用します。

詳細は、横須賀市のホームページ、またはふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」(<http://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/14201>)でご確認ください。



ふるさとチョイスHP

## ② 市内在住の方に対するポイント付与がなくなりました。

地方税法等の一部を改正する法律の成立により、令和元年(2019年)6月1日以降、ふるさと納税にかかる指定制度が創設され、総務大臣が定めた基準に適合した地方団体が「ふるさと納税」(特例控除)の対象として指定されることとなりました。

6月1日から適用されたこの基準の中で、市内在住の方からの寄附金に対し返礼品などを提供しないことが定められました。

本市ではこれまで、市内在住の方から「ふるさと納税」でご寄附をいただいた場合にも寄附金額に応じて記念品と交換できるポイントを付与していました。しかしこの基準に適合するため、市内在住の方へのポイントの付与を6月1日から取り止めることとなりました。

なお、新たな基準適用前である5月末日までに付与したポイントにつきましては、6月1日以降もポイントの有効期間内(2年間)であれば、記念品と交換できます。

今後もより一層皆さまのご期待に沿えるよう、横須賀の発展に努めていきます。

本年も引き続き、横須賀市へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

令和元年10月

横須賀市財政部財政課(ふるさと納税担当)

住所 〒238-8550 横須賀市小川町11

電話 046-822-8276

メール [fi-fi@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:fi-fi@city.yokosuka.kanagawa.jp)